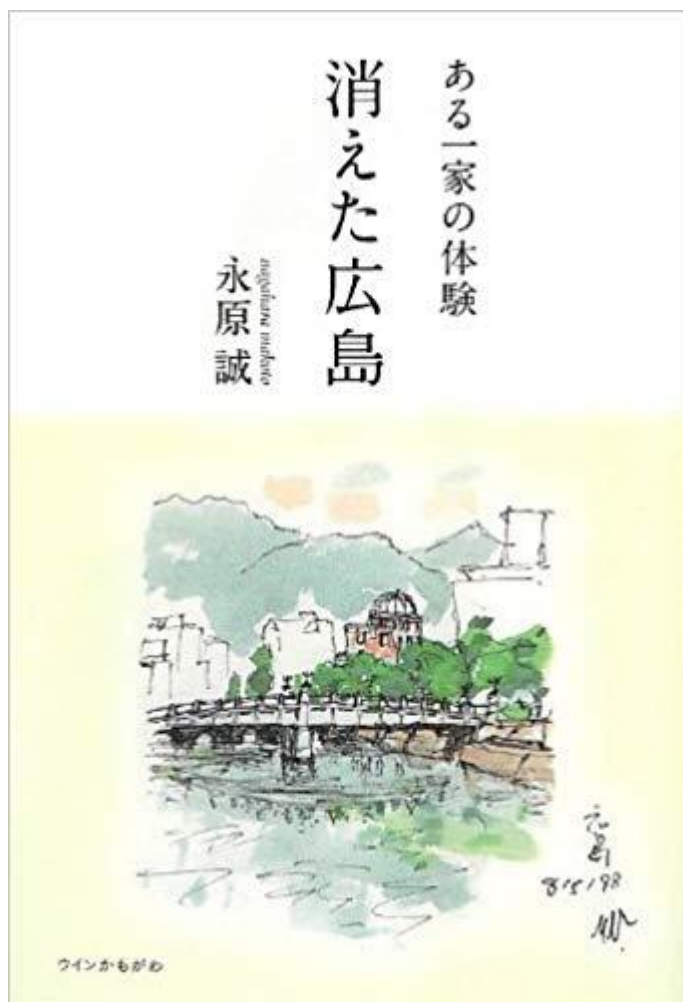




『消えた広島 ある一家の体験』 英訳プロジェクト

『消えた広島』（ウインかもがわ、2013）は本学文学部名誉教授の故永原誠先生（1927-2013）の遺著となった回想記です。広島での幼少期、迫りくる戦争の足音、そして原爆投下によるご家族の死が当時の世相を交えながら味わい深い文章で綴られています。

反戦と平和への誓いを新たに、ことばの壁を越えて原爆の悲惨さを伝えていくために本書の英訳を計画しました。翻訳完成後には出版を予定しています。

つきましては、翻訳にご協力くださる方を募集します。学部生・院生・回生は問いません。留学生も歓迎します。英語表現を磨きたい方、核軍縮や平和学に興味のある方など広く募集します。興味のある方はまず説明会にご参加いただくか、右の問合せ先までご連絡ください。

ご参加お待ちしております



説明会

11月29日（金）
12:20-12:50
@衣笠 BBP

対象
全学部生・院生
留学生も歓迎

翻訳完成後
出版予定

語学スコア目安
TOEIC600点

お問合せ

立命館大学法学部
佐藤渉

[wsato@law.ritsumei.
ac.jp](mailto:wsato@law.ritsumei.ac.jp)

075-466-3202

（個人研究室直通）